

日中戦争と統制経済

*1
第2次上海事変が発生し戦火は華中にも拡大、本格的な戦争へと発展します。

*2
張学良が蒋介石を軟禁し、国共内戦の停止と抗日を要求した事件です。

*3
このとき、いわゆる南京大虐殺が起こりました。

*4
1838年1月①政府は、「国民政府は相手とせず」という声明をだし停戦の途を閉ざし、11月には戦争目的を「東亜新秩序建設」と唱え米英との対立をも激化させます。

*5
「点」は都市、「線」は鉄道をさし、「面」である農村の支配はできませんでした。

*6
シベリアに進出してソ連と戦うという陸軍中心の北進論に対し、米英と対抗し東南アジア方面に進出し、その地の資源の獲得をめざすという考え方で、主に海軍が主張してきた方針です。

*7
国家体制を一新し、国が一つとなる新しく強力な体制をとろうという運動です。

1940年には大政翼賛会が発足、政党はすべて解散にしてこれに合流、労働組合も国のために奉公する大日本産業報国会となりました。

●1937年6月、華族のトップ・五摂家出身の①_____が第一次内閣を組閣します。

●1937年7月7日、北京郊外の②_____で発生した軍隊同士の小規模な衝突（②事件）をきっかけに、日本は日中戦争に突入します*1。

●中国では、前年12月の③_____事件*2をきっかけに内戦状態にあった国民政府と共産党が歩み寄り、1937年9月に第二次国共合作が実現、中国が一丸となった抗日戦争をすすめます。

●1937年7月日本軍は上海、12月には首都④_____を占領しますが*3、国民政府は首都を重慶に移し、徹底抗戦をつづけました。*4

中国側の激しい抵抗をうけ、日本軍は都市と鉄道のみを確保する「点と線」*5の支配に終始、戦死者も増加、苦戦が続きます。

●①内閣は、戦争がはじまると⑤_____運動をすすめ、国民に戦争協力を求めました。

戦争の長期化に対応すると、1938年、⑥_____法を制定、政府が自由に国民を戦争に動員できる体制を準備しました。

⑥法にもとづいて、政府は軍需産業に国民を自由に動員できるという⑦_____令を制定しました。

統制経済が強化され、砂糖・マッチなどの切符制や米の⑧_____制などが次々に実施されます。

●1939年の⑨_____事件で、日本軍はモンゴルとの国境でソ連軍と衝突、大敗を喫しました。これ以後、日本は北はソ連に対する守備に専念し、南に利権を求める南進政策*6を採るようになります。（⑩_____）

●1939年9月⑪_____が発生、日本と防共協定を結んでいた⑫_____が、対立していたはずのソ連とも協力し、戦争を始めます。しかし、当時の内閣は不介入政策をとります。

●1940年になり、⑫がフランスを破ると、これと結んでファシズム体制をとるべきだという新体制運動*7が始まりました。